



# SESERAGI-MISHIMA Rotary Club

## Weekly Report

せせらぎ三島ロータリークラブ週報

2008～2009年度 RI会長 李 東建

RIテーマ **Make Dreams Real** 夢をかたちに

クラブ会長基本テーマ「20年の生業を基に、仲間を増やそう」

会長 大房正治 副会長 山梨一正 幹事 鈴木政則

### 第925回 例会

2008.10.10(金) 晴れ

司会：遠藤正亀君 指揮：石井邦夫君  
ロータリーソング「我等の生業」

事務所 三島市大社町17-4

TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

例会場 ブケ東海三島

TEL.055-984-0120

毎週金曜日 第1・第3 夜間例会



撮影：山本章君

### 会長挨拶

#### せせらぎ三島ロータリークラブ

会長 大房正治君



10月は職業奉仕月間ですが、本日の例会場変更は、米山記念館になりました。米山梅吉を偲んでロータリーの原点に戻りましょうという意図がございます。10月号の「ロータリーの友」を見ますと、“よねやまだより”の中にロータリー米山記念奨学会資料が載っておりましたので抜粋しまして報告させていただきます。2620地区は2007～2008年度には42,841千円寄付をしてあります。又累計で1,217,673千円になり一人平均は12,471円になります。功労者は2007～8年度では159人〔-16人〕累計2,023人です。奨学生は2008学年度に20人で累計では316人になっています。

米山記念奨学会は、昨年7月1日に財団設立40周年を迎え、これまでに1万4000人以上もの外国人留学生を受け入れ、このうち韓国からは約3,600人、全体の25%となり又、中国はなんと47.1%を占めていますと、書いてありましたが対談の中に、気になることが一つありました。それは韓国では、「奨学生だったことがわかると何かにつけて不利で、そのために、経歴を隠すことがあると聞いたことがあります」という質問をしました。勿論、金さんは否定をしましたが、同じ事が中国にも言えるのではないかと感じたのは私だけでしょうか？

### 幹事報告

幹事 鈴木政則君

1. RI認証ロータリー囲碁同好会主催により大会が行われます。

日時 2008年11月29日(土)

会場 日本棋院会館(東京、市ヶ谷) 1階ホール

・興味のある方は ご参加下さい。

- 長島操子さんが退会されました。理由は、体の調子が良くないので自宅で静養したい。理事会で承認されました。
- ガバナー事務所より10月ガバナー月信が来ています。
- 沼津、吉原ロータリークラブより週報が来ています。
- 例会終了後 臨時の理事会を行います。

### 出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	32/39	82.05%	34/39	87.18%
今回	27/38	71.05%	会員総数	38名

#### 欠席者

あなたが見えなくて残念でした。

新井さん、石井司君、加藤君、川村さん、松下君、山口雅君、山上君、山梨君、山本章君、米山君、渡邊君

### スマイルボックス

金澤征子さん：はじめての米山記念館です。少し早く来ましたので、館内を見させていただきました。米山梅吉翁の(少年時代から)生涯を少々垣間見ることができました。奉仕の精神を忘れることなく全うされた人生、素晴らしく思いました。この次はゆっくりと館内を見させていただきたいと思います。

小林勝君：本日は早退させていただきます。

保坂国夫君：本日は記念館への移動例会です。よろしくお祈りします。

## 卓 話

## 米山梅吉記念館運営委員

保坂国夫君

## ■財団法人米山梅吉記念館の歴史

米山梅吉記念館は昭和44年3月26日に設立され、同年9月16日に記念館（旧館）の建設になった。この誕生を即したのは長泉町下土狩にあった米山梅吉の終焉（えん）の場所でもある、米山別邸の宅地分譲の情報であった。

日本は戦後の混乱期を経て昭和30年代に入り世相も安定し、一応の成長を見るようになり、昭和31年には経済白書がもはや戦後ではない、とうたい揚げた。しかし政治面では昭和35年安保延長に大反対運動が沸き起こり日本中が大混乱になり、安保騒動により退陣した岸内閣の後、所得倍増論で登場した池田内閣の経済政策により日本は経済発展を遂げる事になり昭和39年の東京オリンピック、東海道新幹線、東名高速道路の開通と続いた。

そんな時期、米山翁が亡くなってから20年を過ぎた昭和41年頃米山別邸が分譲に付される事が伝え聞いた、地元ロータリアンらが米山別邸保存、そして記念館へとかりたてていった。

## 1) 米山別邸の由来

米山は幼少の頃過ごした長泉の地をこよなく愛した。長男。次男には郷里の古くから続く米山家にちなんだ名前を付けた東一郎。駿二。桂三と米山は長泉の本邸とは別に拠点を下土狩駅の近くに明治42年12月に3093坪の土地を取得、東京に活動の中心を置く梅吉翁にとって、駅に近い方が良かった筈であり、東海道本線が東京新橋と神戸をつなぐ全線が開通したのは明治22年7月で丹那トンネルが開通するまでは国府津から御殿場を経て沼津に至っていた。

当初は裾野駅から沼津の間には駅がなく明治31年6月に下土狩に駅が出来たが当初は下土狩駅ではなく、三島駅であったが下土狩から三島まで豆相鉄道が走っていて三島。伊豆方面への玄関口の役割を果たしていた。

米山本邸と下土狩駅までは徒歩で30分程の道のりで、幹線鉄道の駅のすぐ目の前の約3500坪の土地に大正6年別邸の建築を木造2階建て1階が42坪2階が20坪程のこじんまりした建物で前を見ると駿河湾、裏側には富士山が眺められて米山翁はこの別邸が気に入り、人に来訪を進めていた。

昭和18年に前立腺肥大という病気となった晩年には別邸で過ごすことが多かった。米山翁が別邸で永遠の眠りに付いたのは昭和21年4月28日78歳でした。

お墓は鶴見の総持寺と上土狩の2箇所に分骨して作られ、上土狩の墓石は終戦後で物不足でしたので、別邸の句碑で間に合わせて作られています。

句碑には（いさかひもなき 漫々の青田かな）と書かれています。

その後この土地は嗣子米山桂三の名義となり昭和26年5月多くの土地が知り合いの会社にわたって、資産家である遺産の処理は大変だったと思います。

又一時期に首相を務めた石橋湛山もこの別邸に居住した事もあったそうです。

そんな時、約3500坪の米山別邸が不動産会社に売られ分譲されるという情報が地元のロータリアンから流れた。

近隣ロータリークラブの会員の何人かが米山別邸を保存出来ないだろうか、由緒ある家屋敷を手に入れてロータリアンの為に保存しようと言うのである。

この話の中心となったのが静岡RCの鱸正太郎PGで鱸は昭和40から41年度の第359地区（当時は静岡、神奈川、山梨）の直前ガバナーを務めた、そんな立場から代表的な役割を果たす事になった。

国際協議会参加の人々がポールハリスが住んだ由緒あるシカゴ郊外の旧宅を訪問する人が多い、わが国の「米山記念奨学会」が成功し、世界社会奉仕の一翼と成っている。米山家は静岡県に縁が深く、米山家の墓地と旧宅が長泉に残っている。この3点が公式訪問の頃から脳裏に絡みあっていた。

このことを三島、沼津、沼津北の3クラブの有志に打ち明けたが土地会社の所有となり別邸の保存は不可能である事を知りその代わりに米山家の先祖代々の梅吉翁のご子息、桂三氏（東京南RC、慶大教授）の地所に気づき、桂三氏に会って記念館の説明をお願いした。桂三氏は東京RCを父が一人で作ったものではない、と辞退されたが米山梅吉だけが創始者とは思わないが、代表者であり記念館内に協力された方々の遺品も陳列出来れば幸い、と了解を求めた。

建設に当たっては鱸PGを委員長に沼津、沼津北、三島、伊豆中央の方々が委員となり登記から設立準備、資金集め等大変苦勞されたようです。

募金に当たって東京RCとも相談され、地元である程度資金が出来た上で全国のロータリアンに呼びかけるとして、静岡県東部の11クラブで700万円集め東京RCはじめ地元359地区はじめ全国のロータリアン、東京RCでは米山翁のけいがいに接した会員は1万円の追加寄付をされた。

そして目標1、700万円が集まり昭和44年9月に創立開館した。敷地150坪建物2階建約48坪で、その後昭和56年には関係者が苦勞されて。隣地を購入し約1、000坪の敷地となった。

そして記念館前の幹線道路の拡幅計画で図面を見ると長屋門が道路にかかり、撤去しなければならない、それで東部3分区の会長を集めて意見を聞いて規模について第2記念館はもう少し大きい建物を造る事に賛成者が多く、建設費用、募金集め、運営費用等容易なことではないが

建物も3階建て250坪から300坪と目標額は4億5千万円とし平成8年2月3日に建設委員会を決めて募金開始、東京RCから75周年記念事業で2千万。長泉町から2千万の大口寄付を頂き平成10年4月28日長泉RCをホストとして新館の落成式をおこなった。

## 次回卓話



10月17日(金) 18時30分  
親睦例会

## \*\*\* Photo Gallery



伊豆ライスセンターの豪華お弁当



卓話の保坂君



米山記念館



バランスは大丈夫でしたか？



かたくなに左手を挙げようとする澤田さんと戸惑う兼子さん